

平成 27 年度第 3 回十和田市外部評価専門部会会議録

日 時 平成 28 年 1 月 25 日（月） 13 : 20～14:15

場 所 十和田市役所本館 3 階第 1 委員会室

案 件 (1) 外部評価対象事業の最終評価について

- ① 健康長寿応援事業
- ② 自主防災組織育成助成事業
- ③ 6 次産業化の促進
- ④ 企業誘致推進事業

出席者 高井委員、立崎委員、江渡委員、小林（博）委員、山端委員
（欠席委員 櫻田委員）

事務局 北館部長、田村課長、森課長補佐、高松係長、吉原主任主査、佐々木主事

会議内容

(1) 外部評価対象事業の最終評価について

- ① 健康長寿応援事業 事業の方向性の変更及び意見の追加 なし
事業評価集計表の内容を外部評価専門部会の評価結果とする。
 - ・事務事業の方向性
さらに重点化を図る 3名
有効性を改善して継続 2名
効率性を改善して継続 1名
- ② 自主防災組織育成助成事業 事業の方向性の変更及び意見の追加 なし
事業評価集計表の内容を外部評価専門部会の評価結果とする。
 - ・事務事業の方向性
さらに重点化を図る 2名
現状のまま継続 1名
有効性を改善して継続 3名
- ③ 6 次産業化の促進 事業の方向性の変更及び意見の追加 なし
事業評価集計表の内容を外部評価専門部会の評価結果とする。
 - ・事務事業の方向性

さらに重点化を図る 5名

有効性を改善して継続 1名

【委員によるコメント】

- ・加工拠点施設があれば市全体に波及効果があると思う。しかし、その設置は行政主導ではなく、企業にとってもメリットがなければいけない。
- ・必要に応じて、県の研究所等、専門家の意見を取り入れて、効果的に進めて欲しい。
- ・6次産業化においても、加工することありきではなく、販路までを見据えて取組ませることが必要である。

④ 企業誘致推進事業 事業の方向性の変更及び意見の追加 なし

事業評価集計表の内容を外部評価専門部会の評価結果とする。

- ・事務事業の方向性

さらに重点化を図る 3名

有効性を改善して継続 2名

効率性を改善して継続 1名

【委員によるコメント】

- ・企業誘致支援大使の効果があるか不安ではあるが、効果的に活用するよう、粘り強く進めて欲しい。